

# 北海道観光入込客数調査報告書

令和3年度（2021年度）

令和4年（2022年）9月

北海道経済部観光局観光振興課

# 北海道観光入込客数調査の内容と留意事項

## 1 北海道観光入込客数調査について

本調査は、観光庁が定めた「観光入込客統計に関する共通基準」に準じて平成22年度に道が改正した「北海道観光入込客数調査要領」に基づき、観光入込客数などを推計したものです。

## 2 調査内容

### (1) 観光入込客数（実人数）

市町村が行う観光地点等入込客数調査、道が行う観光地点パラメータ調査及び観光庁が提供する宿泊観光入込客数などのデータなどにより推計した北海道における観光入込客の実人数

実人数：1人の観光客が1回の旅行で、5市町村を訪問している場合でも、1人と数えます。

訪日外国人来道者数（実人数）については、日本政府観光局（JNTO）の訪日外客数や訪日外客訪問地調査などにより推計した北海道を訪れた外国人の実人数

### (2) 観光入込客数（延べ人数）

各市町村の観光入込客数を集計した観光入込客数の延べ人数

延べ人数：市町村の実人数の単純合計

（1人の観光客が1回の旅行で、5市町村を訪問している場合は、5人と数えます。）

### (3) 観光消費額単価

全道16カ所の観光地点における聞き取り調査をもとに、道内客、道外客、外国人について、「観光」、「ビジネス兼観光」別に算出した観光消費額単価

## 3 利用上の留意事項

各数字は、四捨五入のため合計が合致しない場合があります。

# I 観光入込客数（実人数）

## 1 概況

令和3年度（2021年度）の観光入込客数は、「新しい旅のスタイル」や道の「どうみん割」、市町村独自の宿泊助成キャンペーン等による効果もあり、旅行需要の回復傾向が見られましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響により、全体で3,495万人（前年比+4.7%、前々年度比▲33.8%）となり、前年度と比べ回復基調にあるものの、感染拡大前の令和元年度（2019年度）の概ね7割程度にとどまりました。

## 2 道内容・道外客・外国人別

道内容は3,234万人（前年度比111万人増、+3.6%、前々年度比1,207万人減、▲27.2%）、道外客は261万人（前年度比46万人増、+21.4%、前々年度比331万人減、▲55.9%）となりました。なお、外国人については、観光客に対する入国拒否等の措置を講じていることから、0万人（前年度比±0万人、前々年度比244万人減、▲100%）となっています。

## 3 日帰り客・宿泊客別

日帰り客は2,701万人（前年度比72万人増、+2.7%、前々年度比825万人減、▲23.4%）、宿泊客は794万人（前年度比85万人増、+12.0%、前々年度比957万人減、▲54.7%）となりました。

## 4 四半期別

四半期別にみると、第1四半期が959万人（前年度比131万人増、+15.8%、前々年度比621万人減、▲39.3%）、第2四半期が1,245万人（前年度比108万人減、▲8.0%、前々年度比830万人減、▲40.0%）、第3四半期が668万人（前年度比67万人増、+11.1%、前々年度比202万人減、▲23.2%）、第4四半期が623万人（前年度比67万人増、+12.1%、前々年度比130万人減、▲17.3%）となりました。

<令和3年度(2021年度)観光入込客数(実人数)>

区 分		日帰り	宿泊	計	構成比
第1四半期 (4~6月)	道内客	845万人	83万人	928万人	96.8%
		前年同期比 +10.3%	+59.6%	+13.4%	
		前々年同期比 ▲24.3%	▲66.0%	▲31.8%	
	道外客	1万人	30万人	31万人	3.2%
		前年同期比 ±0.0%	+233.3%	+210.0%	
		前々年同期比 ▲50.0%	▲80.4%	▲80.0%	
	外国人	—	0万人	0万人	±0.0%
		前年同期比 —	—	—	
		前々年同期比 —	▲100.0%	▲100.0%	
	合 計	846万人	113万人	959万人	100.0%
		前年同期比 +10.3%	+85.2%	+15.8%	
		前々年同期比 ▲24.3%	▲75.5%	▲39.3%	
第2四半期 (7~9月)	道内客	1,027万人	139万人	1,166万人	93.7%
		前年同期比 ▲6.0%	▲16.8%	▲7.5%	
		前々年同期比 ▲32.6%	▲48.9%	▲35.0%	
	道外客	3万人	76万人	79万人	6.3%
		前年同期比 ±0.0%	▲15.6%	▲15.1%	
		前々年同期比 ▲66.7%	▲62.6%	▲62.7%	
	外国人	—	0万人	0万人	±0.0%
		前年同期比 —	—	—	
		前々年同期比 —	▲100.0%	▲100.0%	
	合 計	1,030万人	215万人	1,245万人	100.0%
		前年同期比 ▲6.0%	▲16.3%	▲8.0%	
		前々年同期比 ▲32.8%	▲60.4%	▲40.0%	
第3四半期 (10~12月)	道内客	392万人	183万人	575万人	86.1%
		前年同期比 +4.5%	+19.6%	+8.9%	
		前々年同期比 ▲10.7%	▲21.1%	▲14.3%	
	道外客	5万人	88万人	93万人	13.9%
		前年同期比 +25.0%	+27.5%	+27.4%	
		前々年同期比 ▲16.7%	▲34.3%	▲33.6%	
	外国人	—	0万人	0万人	±0.0%
		前年同期比 —	—	—	
		前々年同期比 —	▲100.0%	▲100.0%	
	合 計	397万人	271万人	668万人	100.0%
		前年同期比 +4.7%	+22.1%	+11.1%	
		前々年同期比 ▲10.8%	▲36.2%	▲23.2%	
第4四半期 (1~3月)	道内客	426万人	139万人	565万人	90.7%
		前年同期比 +10.6%	+5.3%	+9.3%	
		前々年同期比 ▲0.7%	▲25.3%	▲8.1%	
	道外客	2万人	56万人	58万人	9.3%
		前年同期比 ±0.0%	+51.4%	+48.7%	
		前々年同期比 ±0.0%	▲32.5%	▲31.8%	
	外国人	—	0万人	0万人	±0.0%
		前年同期比 —	—	—	
		前々年同期比 —	▲100.0%	▲100.0%	
	合 計	428万人	195万人	623万人	100.0%
		前年同期比 +10.6%	+15.4%	+12.1%	
		前々年同期比 ▲0.7%	▲39.4%	▲17.3%	
年度計 (4~3月)	道内客	2,690万人	544万人	3,234万人	92.5%
		前年同期比 +2.7%	+7.9%	+3.6%	
		前々年同期比 ▲23.3%	▲41.8%	▲27.2%	
	道外客	11万人	250万人	261万人	7.5%
		前年同期比 +10.0%	+22.0%	+21.4%	
		前々年同期比 ▲42.1%	▲56.4%	▲55.9%	
	外国人	—	0万人	0万人	±0.0%
		前年同期比 —	—	—	
		前々年同期比 —	▲100.0%	▲100.0%	
	合 計	2,701万人	794万人	3,495万人	100.0%
		前年同期比 +2.7%	+12.0%	+4.7%	
		前々年同期比 ▲23.4%	▲54.7%	▲33.8%	

※数値は端数処理の関係上、合計等が合致しない場合があります。

## Ⅱ 観光入込客数（延べ人数）

### 1 総数

市町村における観光入込客数を合計した総数(延べ人数)は、8,531万人で、前年度に比べて5.2%の増加、前々年度に比べて40.7%の減少となりました。

また、宿泊客延べ数の合計は、1,873万人泊で、前年度に比べて21.4%の増加、前々年度に比べて48.3%の減少となりました。

### 2 圏域別

圏域別の観光入込客数(延べ人数)及び宿泊客延べ数を見ると、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、全道域では前年度と比べて増加しているものの、コロナ前の概ね5割台程度にとどまっております。

複数の市町村においては、独自の宿泊助成事業の実施や、前年度に引き続き、密を回避できる屋外施設としてキャンプ場等の需要の高まりによる観光客の増加が見られました。

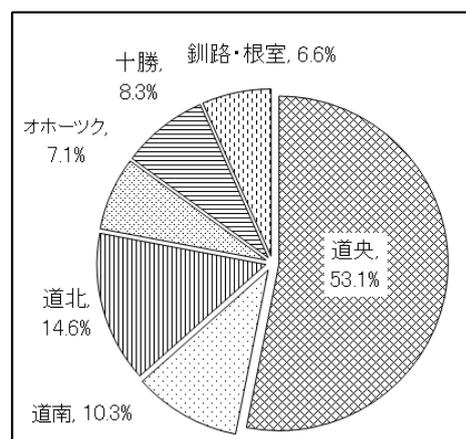
なお、各圏域の観光入込客数の特徴は次のとおりです。

道 央 圏	新型コロナウイルス感染症拡大が影響したものの、7月に「北海道・北東北の縄文遺跡群」(千歳市、伊達市、洞爺湖町)が世界遺産に登録されたほか、夏季のイベント開催による観光客の増加があったことから、圏域では前年度比6.1%増となりました。
道 南 圏	新型コロナウイルス感染症拡大の影響が見られる一方で、7月に「北海道・北東北の縄文遺跡群」(函館市)が世界遺産に登録されたほか、奥尻-丘珠間の航空便の冬期就航、大雪に伴うスキー場の好調により、圏域では前年度比10.4%増となりました。
道 北 圏	緊急事態宣言等が発出され、海水浴場の閉鎖や観光施設の休館があったものの、5月に道の駅「羊のまち 侍・しべつ」(士別市)が新規オープンしたほか、昨年同様に三密を回避できる屋外施設としてキャンプ場やスキー場等の入込が好調だったことから、圏域では前年度比1.9%増となりました。
オホーツク圏	新型コロナウイルス感染症拡大が影響したものの、女満別空港(大空町)の利用状況が対前年度対比で57.4%の増加、紋別空港(紋別町)も57.2%増加したことから、圏域では前年度比4.4%増となりました。
十 勝 圏	新型コロナウイルス感染症拡大が影響したものの、新嵐山スカイパーク(芽室町)の冬期 BBQ イベントの新設による観光客の入込が好調だったことなどから、圏域では前年度比0.6%増となりました。
釧路・根室圏	新型コロナウイルス感染症拡大による航空機などの減便、各市町村のイベント中止などがあったものの、令和3年3月に「厚岸霧多布昆布森」(浜中町)が国定公園に指定されたことによる観光客の増加などにより、圏域では前年度比5.2%増となりました。

<圏域別観光入込客数(延べ人数)>

圏域	観光入込客数	前年度比	対前年増減数	対前々年度比	対前々年増減数	構成比
道央	4,533万人	+6.1%	+261万人	▲42.6%	▲3,361万人	53.1%
道南	876万人	+10.4%	+83万人	▲33.7%	▲445万人	10.3%
道北	1,242万人	+1.9%	+24万人	▲45.0%	▲1,017万人	14.6%
オホーツク	603万人	+4.4%	+26万人	▲31.1%	▲272万人	7.1%
十勝	711万人	+0.6%	+4万人	▲30.7%	▲315万人	8.3%
釧路・根室	565万人	+5.2%	+28万人	▲44.2%	▲447万人	6.6%
合計	8,531万人	+5.2%	+425万人	▲40.7%	▲5,857万人	100.0%

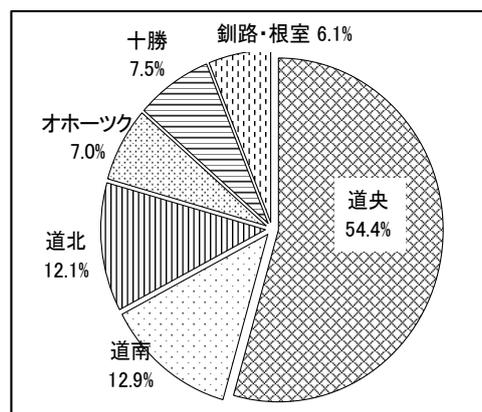
※各数値は、千人単位で四捨五入しているため合計が合致しない場合があります。



<圏域別宿泊客延べ数>

圏域	宿泊客延数	前年度比	対前年増減数	対前々年度比	対前々年増減数	構成比
道央	1,019万人泊	+28.3%	+225万人泊	▲52.8%	▲1,138万人泊	54.4%
道南	241万人泊	+13.1%	+28万人泊	▲45.2%	▲199万人泊	12.9%
道北	227万人泊	+9.6%	+20万人泊	▲47.6%	▲207万人泊	12.1%
オホーツク	132万人泊	+25.0%	+26万人泊	▲25.1%	▲44万人泊	7.0%
十勝	140万人泊	+14.9%	+18万人泊	▲33.5%	▲70万人泊	7.5%
釧路・根室	114万人泊	+12.5%	+13万人泊	▲43.9%	▲89万人泊	6.1%
全道	1,873万人泊	+21.4%	+330万人泊	▲48.3%	▲1,747万人泊	100.0%

※各数値は、千人単位で四捨五入しているため合計が合致しない場合があります。



### 3 市町村別

観光入込客数を市町村別で見ると、札幌市が789万人（前年度比+38.4%、前々年度比▲48.3%）で最も多く、次いで、函館市346万人（前年度比+11.6%、前々年度比▲35.5%）、釧路市276万人（前年度比+12.0%、前々年度比▲48.1%）、以下小樽市、石狩市、白老町の順となっています。

一方、宿泊客延べ数で見ると、札幌市が631万人泊（前年度比+42.8%、前々年度比▲54.9%）で最も多く、次いで、函館市204万人泊（前年度比+13.1%、前々年度比▲46.6%）、帯広市93万人泊（前年度比+21.0%、前々年度比▲22.2%）、以下、釧路市、小樽市、北見市の順となっています。

<観光入込客数(実人数)の多い市町村>

順位	市町村名	入込客数	前年度比	前々年度比
1	札幌市	789万人	+38.4%	▲48.3%
2	函館市	346万人	+11.6%	▲35.5%
3	釧路市	276万人	+12.0%	▲48.1%
4	小樽市	266万人	+2.5%	▲62.0%
5	石狩市	190万人	+18.4%	▲13.3%
6	白老町	168万人	▲5.1%	+5.5%
7	喜茂別町	162万人	▲5.8%	▲33.4%
8	旭川市	160万人	▲5.8%	▲68.5%
9	苫小牧市	148万人	+4.3%	▲33.4%
10	恵庭市	145万人	+14.9%	+4.5%
11	七飯町	141万人	+17.3%	▲37.9%
12	帯広市	138万人	▲1.7%	▲51.0%
13	千歳市	125万人	▲11.4%	▲72.5%
14	東川町	122万人	+6.8%	+6.8%
15	江別市	122万人	▲10.6%	+2.3%
16	登別市	120万人	+12.7%	▲62.9%
17	伊達市	118万人	+5.3%	▲27.4%
18	富良野市	113万人	+6.3%	▲40.4%
19	洞爺湖町	109万人	▲5.5%	▲54.6%
20	美瑛町	106万人	▲18.0%	▲56.1%

<宿泊客延べ数の多い市町村>

順位	市町村名	宿泊客延べ数	前年度比	前々年度比
1	札幌市	631万人泊	+42.8%	▲54.9%
2	函館市	204万人泊	+13.1%	▲46.6%
3	帯広市	93万人泊	+21.0%	▲22.2%
4	釧路市	75万人泊	+11.9%	▲49.1%
5	小樽市	48万人泊	+20.9%	▲49.5%
6	北見市	45万人泊	+9.6%	▲30.0%
7	登別市	43万人泊	+9.0%	▲59.5%
8	旭川市	38万人泊	▲5.9%	▲58.1%
9	二セコ町	34万人泊	+11.3%	▲29.0%
10	倶知安町	30万人泊	+24.3%	▲73.8%
11	富良野市	30万人泊	+33.5%	▲52.8%
12	占冠村	30万人泊	+20.8%	▲50.4%
13	網走市	29万人泊	+15.1%	▲32.4%
14	稚内市	27万人泊	+14.0%	▲25.1%
15	洞爺湖町	25万人泊	▲1.8%	▲61.9%
16	室蘭市	24万人泊	▲1.3%	▲28.0%
17	音更町	22万人泊	+3.8%	▲46.1%
18	斜里町	22万人泊	+2.6%	▲49.4%
19	千歳市	22万人泊	+5.7%	▲38.6%
20	留寿都村	18万人泊	+58.1%	▲46.4%

### Ⅲ 観光消費額単価

＜令和3年度(2021年度) 観光消費額単価＞

(単位:円)

区 分		日 帰 り	宿 泊	
第1 四半期 (4~6月)	道 内 客	観光	4,641 ( 5,489 )	19,722 ( 27,885 )
		ビジネス兼観光	7,655 ( 4,316 )	31,264 ( 24,538 )
	道 外 客	観光	21,317 ( 17,226 )	54,704 ( 59,567 )
		ビジネス兼観光	5,700 ( 5,532 )	84,469 ( 80,395 )
	外 国 人	観光	— ( — )	— ( — )
		ビジネス兼観光	— ( — )	— ( — )
第2 四半期 (7~9月)	道 内 客	観光	4,628 ( 5,697 )	26,112 ( 30,525 )
		ビジネス兼観光	14,914 ( 3,114 )	24,786 ( 24,410 )
	道 外 客	観光	38,184 ( 20,250 )	87,393 ( 95,194 )
		ビジネス兼観光	6,388 ( 5,588 )	78,692 ( 57,339 )
	外 国 人	観光	— ( — )	— ( — )
		ビジネス兼観光	— ( — )	— ( — )
第3 四半期 (10~12月)	道 内 客	観光	3,891 ( 4,350 )	20,495 ( 29,390 )
		ビジネス兼観光	13,707 ( 6,973 )	30,160 ( 28,011 )
	道 外 客	観光	41,542 ( 21,745 )	63,530 ( 74,947 )
		ビジネス兼観光	6,458 ( 5,823 )	92,887 ( 76,736 )
	外 国 人	観光	— ( — )	— ( — )
		ビジネス兼観光	— ( — )	— ( — )
第4 四半期 (1~3月)	道 内 客	観光	3,302 ( 4,409 )	26,921 ( 22,875 )
		ビジネス兼観光	8,145 ( 4,596 )	28,209 ( 32,022 )
	道 外 客	観光	18,392 ( 10,581 )	56,439 ( 49,820 )
		ビジネス兼観光	6,730 ( 5,800 )	34,961 ( 48,858 )
	外 国 人	観光	— ( — )	— ( — )
		ビジネス兼観光	— ( — )	— ( — )

道内16の観光地点において実施した聞き取り調査により算出した観光消費額単価は、下表のとおりとなっています。

※ ( )内の数値は、前年度の単価です。

道内容、道外客、外国人客の「ビジネス兼観光」及び外国人の日帰りの単価は、観光庁から提供された値を掲載しています。

なお、外国人客につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響により、令和3年度は本調査未実施のため、「—」としております。

北海道観光入込客数調査報告書 [令和3年度 (2021年度)]

<https://www.pref.hokkaido.lg.jp/kz/kkd/irikomi.html>

---

令和4年 (2022年) 9月

北海道経済部観光局観光振興課 (観光企画)

札幌市中央区北3条西6丁目

電話番号 (代表) 011-231-4111 内線 26-574

(直通) 011-206-6596

FAX番号 (直通) 011-232-4120

---